

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-233046

(43)Date of publication of application : 19.08.1994

(51)Int.Cl.

H04N 1/00
G03G 15/00
G06K 17/00
G07C 3/00
H04N 1/21

(21)Application number : 05-013960

(71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing : 29.01.1993

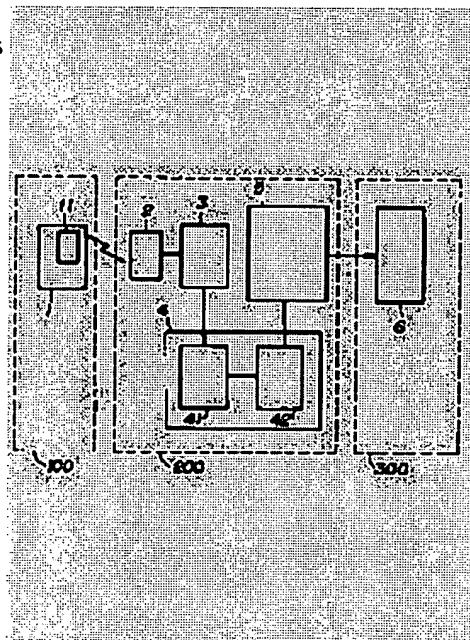
(72)Inventor : OBARA TSUNEO

(54) INTERFACE DEVICE FOR IMAGE FORMING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To set a job mode without operating the inputting means of an image forming device or directly inputting necessary data by a user carrying an ID card.

CONSTITUTION: This device is equipped with a means 2 which receives ID code information returned from a transponder 11, a means 3 which decodes a prescribed ID code from the ID code information received by the transmitting and receiving means 2, a means 4 which stores history data corresponding to the ID code, and a priority job discriminating means 5 which discriminates a priority job from the history data corresponding to the decoded ID code, and designate a job mode to an image forming device job mode setting means 6. Thus, the desired job can be set only by performing access to the picture forming device by the user.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.07.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3123282

[Date of registration] 27.10.2000

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-233046

(43)公開日 平成6年(1994)8月19日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z	7046-5C		
G 0 3 G 15/00	3 0 2			
G 0 6 K 17/00		F 7459-5L		
G 0 7 C 3/00		9146-3E		
H 0 4 N 1/21		2109-5C		

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 11 頁)

(21)出願番号 特願平5-13960

(22)出願日 平成5年(1993)1月29日

(71)出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社

東京都港区赤坂三丁目3番5号

(72)発明者 小原 常男

神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社内

(74)代理人 弁理士 小野寺 洋二 (外1名)

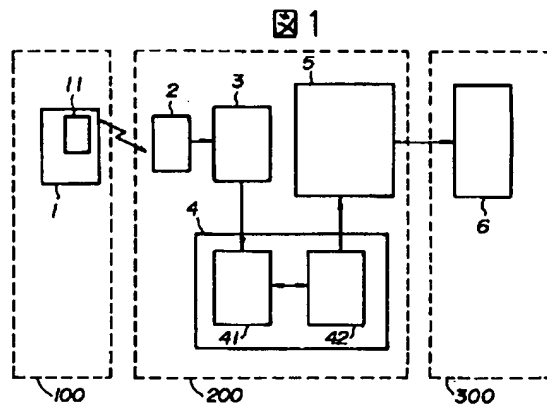
(54)【発明の名称】 画像形成装置のインターフェース装置

(57)【要約】

【目的】 I/Dカードを携帯した使用者が画像形成装置の入力手段を操作して直接必要なデータを入力することなく、ジョブモードを設定する。

【構成】 IDカード1のトランスポンダ11から返送されたIDコード情報を受信する手段2と、送受信手段2で受信したIDコード情報から所定のIDコードを解読する手段3と、来歴データをIDコード対応で格納する手段4と、解読されたIDコードに対応した来歴データから優先ジョブを判定して画像形成装置ジョブモード設定手段6にジョブモードを指定する優先ジョブ判定手段5とを備える。

【効果】 使用者は画像形成装置にアクセスするのみで希望のジョブが設定される。



1 I/Dカード

2 送受信手段

4 来歴データ格納手段

42 来歴データテーブル

6 ジョブモード設定手段

200 インターフェース装置

11 トランスポンダ

3 I/Dコード解読手段

41 I/Dデータテーブル

5 優先ジョブ判定手段

100 ユーザ

300 画像形成装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 質問信号の受信に応じて所定のIDコード情報を返送するトランスポンダを搭載したIDカードを携帯する利用者と画像形成装置との間に介在し、上記利用者の直接入力なしにその要求ジョブを判定して当該要求されたジョブモードに上記画像形成装置を設定する画像形成装置のインターフェース装置において、前記IDカードを携帯した利用者の接近に対応して質問情報を伝送し、この質問情報に回答して前記トランスポンダから返送されたIDコード情報を受信する送受信手段と、上記送受信手段で受信したIDコード情報から所定のIDコードを解説するIDコード解説手段と、来歴データをIDコード対応で格納する来歴データ格納手段と、上記IDコード解説手段で解説されたIDコードに対応した来歴データから優先ジョブを判定して前記画像形成装置のジョブモード設定手段にジョブモードを指定する優先ジョブ判定手段とを備えたことを特徴とする画像形成装置のインターフェース装置。

【請求項2】 質問信号の受信に応じて所定のIDコード情報を返送するトランスポンダを搭載したIDカードを携帯する利用者と画像形成装置との間に介在し、上記利用者の直接入力なしにその要求ジョブを判定して当該要求されたジョブモードに上記画像形成装置を設定する画像形成装置のインターフェース装置において、前記IDカードを携帯した利用者の接近に対応して質問情報を伝送し、この質問情報に回答して前記トランスポンダから返送されたIDコード情報を受信する送受信手段と、上記送受信手段で受信したIDコード情報が複数である場合に信号レベルの大なるものを判定するレベル判定手段と、上記レベル判定手段でレベルが大であると判定されたもののIDコードを解説するIDコード解説手段と、来歴データをIDコード対応で格納する来歴データ格納手段と、上記IDコード解説手段で解説されたIDコードに対応した来歴データから優先ジョブを判定して前記画像形成装置のジョブモード設定手段にジョブモードを指定する優先ジョブ判定手段とを備えたことを特徴とする画像形成装置のインターフェース装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【従来の技術】本発明は、複写機等の画像形成装置と、この画像形成装置の使用者との間に介在し、原則として画像形成装置の操作部に非接触で当該使用者の希望するジョブを判断してジョブ待機状態に設定するようにした画像形成装置のインターフェース装置に関する。

【0002】複写機等の画像形成装置を使用する場合、

使用者はその操作部から自身の希望するジョブのモードの設定を行ってジョブインし、当該ジョブを実行するのが通常的使用方法である。しかし、通常、70～80%のジョブは固定化されており、ジョブの的中率の高いジョブを優先ジョブとして登録することで業務の効率化を計ることが可能であるにもかかわらず、使用の度ごとに上記のようなジョブモードの設定操作を行うことは繁雑であり、画像形成装置の可動率を低下させる原因となっている。

【0003】近年、企業等の組織体において、その従業員等に各個を認識するための所謂I/Dカード等の識別手段を携帯させ、このI/Dカード等を用いて入退館や入退室、あるいはOA機器の使用管理、さらには昼食精算管理、その他の個人ごとの仕事の管理を行うようにした管理システムが広く普及するようになってきた。そして、この種のI/Dカードは、単なる従業員等の個人識別コード記録手段としてのみでなく、所謂IC等のアクティブデバイスを内蔵させて、リーダ・ライタを介して所要のデータを交換するようにしたシステムも普及している。

【0004】また、電波/電磁波等を介在させてホストコンピュータとの間でデータの送受信を行わせる非接触型形態での利用システムも可能と考えられる。なお、OA機器の分野における上記非接触型形態での利用システムに関するものとしては、例えば特開平2-7244号公報に開示されたように、カードサイズの端末装置とホストコンピュータとの間を無線により情報の伝送を行うようにしたものや、文字情報を無線等を用いて空中伝播させ、表示装置側で受信した信号を文字情報に復元してメモリに格納し、これを表示手段に表示させるようにした特開昭58-204863号公報が知られている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記した無線等を介在させて端末装置とホストコンピュータ間でのデータの送受信を行う従来技術においては、端末装置とホストコンピュータ間で単にデータを送受信するのみである。そして、上記従来の技術では、端末装置とホストコンピュータの何れの側においても、情報の送受信操作に人の関与が必要であり、前記I/Cカード等の識別別手段のように、携帯を意識することの少ない端末装置についての情報の送受信と当該情報を加工したり編集するような技術思想はない。

【0006】なお、複写機等の画像形成装置の使用をI/Dカードで管理するシステムも知られているが、このシステムでは当該画像形成装置の使用許可キーとしてI/Dカードを用いる程度のものであり、I/Dカードを当該画像形成装置に備えたカードリーダに通して記録されたデータを読み取らせるものである。本発明の目的は、I/Dカードを携帯した使用者が画像形成装置の入力手段を操作して直接必要なデータを入力することな

く、自身の保有するデータを伝送し、このデータに基づいて画像形成装置のジョブモードを設定するようにした画像形成装置のインターフェース装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、図1に示したように、質問信号の受信に応じて所定のIDコード情報を返送するトランスポンダ11を搭載したIDカード1を携帯する利用者100と画像形成装置300との間に介在し、上記利用者100の直接入力なしにその要求ジョブを判定して当該要求されたジョブモードに上記画像形成装置300を設定する画像形成装置のインターフェース装置200において、前記IDカード1を携帯した利用者100の接近に対応して質問情報を伝送し、この質問情報に回答して前記トランスポンダ11から返送されたIDコード情報を受信する送受信手段2と、上記送受信手段2で受信したIDコード情報から所定のIDコードを解説するIDコード解説手段3と、来歴データをIDコード対応で格納する来歴データ格納手段4と、上記IDコード解説手段3で解説されたIDコードに対応した来歴データから優先ジョブを判定して前記画像形成装置300のジョブモード設定手段6にジョブモードを指定する優先ジョブ判定手段5とを備えたことを特徴とする。

【0008】また、本発明は、図3に示したように、質問信号の受信に応じて所定のIDコード情報を返送するトランスポンダ11を搭載したIDカード1を携帯する利用者100と画像形成装置300との間に介在し、上記利用者の直接入力なしにその要求ジョブを判定して当該要求されたジョブモードに上記画像形成装置を設定する画像形成装置のインターフェース装置200において、前記IDカード1を携帯した利用者100の接近に対応して質問情報を伝送し、この質問情報に回答して前記トランスポンダ11から返送されたIDコード情報を受信する送受信手段2と、上記送受信手段2で受信したIDコード情報が複数である場合に信号レベルの大なるものを判定するレベル判定手段31と、上記レベル判定手段31でレベルが大であると判定されたもののIDコードを解説するIDコード解説手段3と、来歴データをIDコード対応で格納する来歴データ格納手段4と、上記IDコード解説手段4で解説されたIDコードに対応した来歴データから優先ジョブを判定して前記画像形成装置300のジョブモード設定手段6にジョブモードを指定する優先ジョブ判定手段5とを備えたことを特徴とする。

【0009】

【作用】使用者100が携帯するI/Dカード1に搭載されたトランスポンダ11は、画像形成装置200側から送信された質問信号を受信し、この受信に応じて当該I/Dカード100側に格納されている所定のIDコー

ド情報を画像形成装置200側に返送する。

【0010】画像形成装置200には、使用者のI/Dコードに対応した来歴データが格納されており、上記搬送されたI/Dコードの使用者の過去のジョブデータを取り出して、そのジョブ履歴から当該利用者のジョブを要求ジョブとして推定し、当該要求ジョブモードに画像形成装置300を設定する。したがって、使用者は画像形成装置にアクセスするのみで、当該画像形成装置の操作部を操作することなく、希望のジョブが設定された画像形成装置を即座に使用できる。

【0011】

【実施例】以下、本発明の実施例につき、図面を参照して詳細に説明する。図1は本発明による画像形成装置のインターフェース装置の1実施例を説明するブロック図であって、1はI/Dカード、11はトランスポンダ、2は送受信手段、3はI/Dコード解説手段、4は来歴データ格納手段、41はI/Dデータテーブル、42は来歴データテーブル、5は優先ジョブ判定手段、6はジョブモード設定手段である。

【0012】なお、100は利用者、200はインターフェース装置、300は画像形成装置を示す。同図において、利用者100が携帯するI/Dカード1には当該利用者を識別するためのI/Dコード情報が格納されており、画像形成装置200から送信される質問信号に回答して、上記I/Dコード情報を返送する。

【0013】画像形成装置200は、I/Dカードとの間で情報の送受信を行うための送受信手段2、I/Dカード1から返送されたI/Dコードを解説するI/Dコード解説手段3、I/Dコードを格納するI/Dデータテーブル41と各I/Dコード対応でそれぞれの来歴データを格納する来歴データテーブル42とからなる来歴データ格納手段4および来歴データテーブル42に基づいてそれぞれの利用者の優先ジョブを判定するジョブ判定手段5とから構成される。

【0014】上記の優先ジョブの判断項目としては、過去のコピー量（月単位、週単位、日単位など）の大きいユーザ、社員番号順、役職順、部署別順位、業務種類順位、等が挙げられる。ジョブ判定手段5で判定されたジョブモードは画像形成装置300のジョブモード設定手段6に与えられ、当該ジョブのモードに画像形成装置300を設定する。

【0015】すなわち、I/Dカード1を携帯した利用者100が画像形成装置300に接近すると、インターフェース装置200の送受信手段2から送信される励起信号で当該I/Dカード1のトランスポンダ11が励起され、格納しているI/Dコード情報が送信される。このI/Dコード情報は上記送受信手段2で受信され、I/Dコード解説手段3で当該利用者のI/Dコードが解説される。解説されたI/Dコードは来歴データ格納手段4のI/Dデータテーブル41に格納されているI/D

Dコード群と照合されて当該I/Dコードに関連する来歴データが来歴データテーブル42から読み出されて優先ジョブ判定手段5に渡される。

【0016】優先ジョブ判定手段5は渡された来歴データから当該利用者が過去に実行したジョブのうち、最も頻度の高いジョブを判定し、これを希望のジョブとして画像形成装置300のジョブモード設定手段6に渡す。ジョブモード設定手段6は渡されたジョブのモードに画像形成装置300を設定する。

【0017】このように構成したことにより、利用者100は画像形成装置300に接近すなわちアクセスすることのみで、インターフェース装置200によって当該画像形成装置300は希望のジョブモードに設定され、自身のジョブを迅速に実行することができる。なお、利用者のジョブが過去の履歴すなわち、当該利用者の最も実行可能性の高いもの以外のジョブを所望する場合は、画像形成装置300に備える操作部からそのジョブモードを設定し直せばよい。

【0018】図2は本発明による画像形成装置のインターフェース装置の他の実施例を説明するブロック図であって、図1と同一符号は同一機能部分に対応し、31はレベル判定手段である。同図に示した実施例は、画像形成装置に対して同時または順次に複数の利用者がアクセスした場合のジョブ優先判定処理機能を負荷した構成である。

【0019】すなわち、インターフェース装置200のI/Dコード解説手段3に、送受信手段2で受信したI/Dカードからの受信信号のレベル判定手段31を備えた構成を有し、このレベル判定手段31の判定にしたがって利用者の優先順序を決定するようにしたものである。例えば、ジョブ実行前に複数の利用者が同時にアクセスした場合や、ある利用者のジョブ実行中に他の利用者がアクセスした場合に、上記複数の利用者の優先順序を決定して優先度の高い順にジョブモードを設定するか、あるいは上記他の利用者のジョブが高い優先度を持ったものである場合には実行中ジョブを中断して上記他の利用者のジョブを実行する、等の優先判定機能を備えたものである。

【0020】図3は本発明による画像形成装置のインターフェース装置の各実施例の具体的な構成を説明するブロック図であって、12は電源回路、13はRFコイル、14は発振回路、15はRFコイル、16はコード発生器、21はRF送信回路、22、24はRFコイル、23は受信回路、40、62はRAM、50はインターフェースコントロール回路、60は画像形成装置コントロール回路（マシンコントロール回路）、61、70はROM、80はキーボードI/Oコントロール回路、81は操作部を構成するキーボード、90はディスプレイ装置である。

【0021】同図において、インターフェースコントロ

ール回路50は前記各実施例におけるI/Dコード解説手段や優先ジョブ判定手段等のデータ処理機能を有し、またI/Dデータテーブルや来歴データテーブルはRAM40に記憶される。そして、インターフェース200のRF送信回路21は画像形成装置（マシン）の電源がオンされた以降は常時所定のRF波を発振して質問信号としてRFコイル22から送信している。

【0022】利用者100が画像形成装置300にアクセスしてこの質問信号の電界にそのI/DカードのRFコイル13が入り込むと、この質問信号により電源回路12が作動して発振回路14が励起され、コード発生器16から当該利用者のI/Dコード情報がRFコイル15を介してRFコイル24に伝送されて受信回路23で受信される。

【0023】受信されたI/Dコード情報はインターフェースコントロール回路50に入力し、RAM70に格納されているI/Dデータとその来歴データとから当該利用者の希望ジョブモードを判断する。判断されたジョブモードと利用者の名前等は、ディスプレイ装置90に表示されて利用者の確認等に従うと共に、マシンコントロール回路60にジョブモードの設定指令を与え、RS232Cインターフェース63を介して画像形成装置300を当該ジョブモードに設定する。

【0024】利用者100はディスプレイ装置90に表示されたジョブの内容から自身のジョブを確認し、希望のジョブモードであればそのままそのジョブモードを実行するが、たまたまそれと異なるジョブを希望していた場合には、キーボード81から所望のジョブモードを入力した後、ジョブを実行する。なお、インターフェースコントロール回路50のROM40はインターフェースコントロール回路を構成するCPUの動作プログラム等、インターフェース装置200の処理動作に必要なデータを格納するものである。また、マシンコントロール回路60のROM61とRAM62は、当該マシンコントロール回路60を構成するCPUの動作プログラム等の処理動作に必要なデータを格納するものである。

【0025】以下、上記した各実施例の構成におけるジョブ処理の動作についてフローチャートを参照して説明する。図4、図5は本発明の上記各実施例の基本的なジョブ処理動作を説明するフローチャートである。同図において、本発明のインターフェース装置を備えた画像形成装置の電源をオンにすると、そのインターフェース装置および画像形成装置のセットアップサイクルS-1が開始される。すなわち、図2に示したインターフェースコントロール回路50のROM70、マシンコントロール回路60のROM61のチェック（S-101）、同RAM40、62のチェック（S-102）、各種の入出力（I/O）チェック（S-103）が行われ、待機状態を示す「READY」表示が操作部の表示手段に表示される（S-2）。

【0026】この状態で、利用者の接近（ユーザアクセス）があると（S-3）、当該ユーザのI/Dカードから送信されるI/Dコードを認識した後、当該I/Dコードにユーザに履歴があるか否かを判断される（S-4）。そして、履歴有りの場合はその履歴データに基づいて優先ジョブがチェックされ（S-5）、優先ジョブに画像形成装置がセットされて「ジョブインREADY/利用者名」が表示される（S-6）。

【0027】そして、ユーザのジョブ開始動作（例えば、原稿セット、枚数セット等）でジョブインし（S-7）、ジョブの実行サイクルが開始する（S-8）。このジョブ実行サイクルはマシンスタート（M/Cスタート）（S-801）、ジョブ実行（S-802）、M/Cストップ（S-803）からなる。ジョブ実行サイクルが終了すると、当該ユーザの履歴保存サイクル（S-9）が開始される。この履歴保存サイクルは、RAM70に格納されている履歴データを更新する履歴書き換え動作（S-901）と書き換えた履歴を集中管理センターに転送する履歴出力動作（S-902）とからなる。なお、この履歴出力動作は当該画像形成装置が単独で設置されているような場合には不要となる。このサイクルの完了で当該ユーザのジョブが終了となる。

【0028】また、上記S-4でユーザの履歴が無し（すなわち、履歴データを持たないユーザ）である場合には、I/Dコードの入力を指示し（S-13）、ユーザはこの指示に従ってキーボードから自身のI/Dコードを入力する（S-14）。入力されたI/Dコードが正規のものである場合はS-6に行き（S-15）、不正なI/Dコードであった場合は利用不可のメッセージを表示して（S-16）終了する。

【0029】図6は本発明の上記各実施例においてジョブイン前に複数のユーザがアクセスした場合の優先ユーザ判定を行うジョブ処理動作を説明するフローチャートであって、ステップ（S-1）から（S-3）までは前記図4、5で説明したものと同様である。ユーザアクセスがあると（S-3）、そのアクセス数が1つのみか否かを判断し（S-31）、ユーザアクセスが1である場合は図4と同様の処理を実行する。一方、アクセス数が2以上であると判断された場合には、各アクセスの受信レベル（受信信号の検波出力レベル）をチェックし（S-321）、その内の最大レベルのものを優先ユーザと判断し（S-322）、以降は前記と同様の（S-4）以下の処理を行う。

【0030】図7は本発明の上記各実施例においてジョブ実行中に他のユーザがアクセスした場合の優先ユーザ判定を行うジョブ処理動作を説明するフローチャートであって、図4あるいは図6でジョブイン（S-7）後、ユーザアクセス有りを判断した場合（S-301）、前記優先項目に基づいて優先ユーザをチェックし（S-302）、現在ジョブ実行中のユーザよりも優先度が低い

ユーザであれば待機の表示と必要に応じて待機時間の表示を行う（S-18）。一方、現在ジョブ実行中のユーザよりも優先度が高いユーザであると判断すると（S-303）、そのユーザの履歴をチェックし（S-401）、履歴が有る場合はその優先ジョブをチェックして（S-501）、実行中のジョブを中断する実行中ジョブ中断処理を行って（S-19）、他のユーザのジョブを実行するために（S-7）のジョブインに至る。

【0031】そして、他のユーザのジョブが完了し、その履歴データの保存を行った後（S-19）、中断していた先のユーザのジョブを再開するか否かの判断を行い（S-17）、再開であればジョブ実行サイクル（S-8）に戻る。なお、（S-401）においてアクセスした他のユーザに履歴が無い場合はI/Dコード入力指示（S-1301）、I/Dコード入力（S-1401）、I/Dコード正否判断（S-1501）を行い、I/DコードOKで実行中ジョブ中断処理（S-19）となる。

【0032】図8は本発明の上記各実施例においてジョブ実行中に他のユーザがアクセスした場合の優先ユーザ判定を行う他のジョブ処理動作を説明するフローチャートであって、例えばあるユーザがジョブ実行中に緊急性のあるジョブを持った他のユーザがアクセスした場合にそのユーザのジョブを優先して実行させるようにしたものである。

【0033】同図において、前記図7でジョブイン（S-7）後に緊急性のあるジョブを持った他のユーザが自身のI/Dカードを画像形成装置の所定のトレイに載置した結果、インターフェース装置はユーザアクセス有りを判断した場合（S-301）、その新規ユーザのI/Dカードからの受信信号レベルをチェックし（S-321）、新規ユーザの受信信号レベルがジョブ実行中のユーザのI/Dカードから受信した信号レベルより大であることの判断（S-323）に基づいて、その履歴の有無を判断する（S-401）。

【0034】当該新規ユーザに履歴があると判断されると、その優先ジョブをチェックし（S-501）、実行中ジョブ中断処理を行って（S-19）、ジョブイン（S-7）する。そして、他のユーザのジョブが完了し、その履歴データの保存を行った後（S-19）、中断していた先のユーザのジョブを再開するか否かの判断を行い（S-17）、再開であればジョブ実行サイクル（S-8）に戻る。

【0035】なお、（S-401）においてアクセスした他のユーザに履歴が無い場合はI/Dコード入力指示（S-1301）、I/Dコード入力（S-1401）、I/Dコード正否判断（S-1501）を行い、I/DコードOKで実行中ジョブ中断処理（S-19）となる。以上説明した各処理モードにより、画像形成装置にアクセスするユーザの希望に沿ったジョブを処理す

ることができる。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、利用者が画像形成装置に直接ジョブモード設定情報をインプットすることなく単に接近するのみで所望のジョブを即座に実行することができ、また緊急性をよさうするようなジョブを持った利用者にたいしては、実行中のジョブを中断させて割り込み処理することができるため、所謂よりフレンドリーで身近な「感性をもった画像形成装置」を提供することが可能となる。

【0037】そして画像形成装置等のOA機器に感性を持たせたことによる、人と機械との一体感を醸し出すことができ、さらに、利用者の来歴データをセンターで集中乖離することで、個人データの蓄積のみならず、グループ単位、オフィス単位での画像形成装置の利用状況を把握でき、業務の効率化を計ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による画像形成装置のインターフェース装置の1実施例を説明するブロック図である。

【図2】 本発明による画像形成装置のインターフェース装置の他の実施例を説明するブロック図である。

【図3】 本発明による画像形成装置のインターフェース装置の各実施例のさらに具体的構成を説明するブロック図である。

【図4】 本発明の上記各実施例の基本的なジョブ処理動作を説明する部分フローチャートである。

【図5】 本発明の上記各実施例の基本的なジョブ処理動作を説明する図4に続く部分フローチャートである。

【図6】 本発明の上記各実施例においてジョブイン前

に複数のユーザがアクセスした場合の優先ユーザ判定を行うジョブ処理動作を説明するフローチャートである。

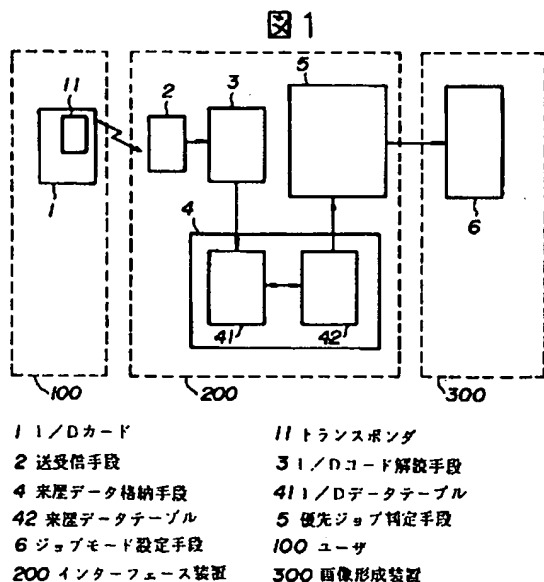
【図7】 本発明の上記各実施例においてジョブ実行中に他のユーザがアクセスした場合の優先ユーザ判定を行うジョブ処理動作を説明するフローチャートである。

【図8】 本発明の上記各実施例においてジョブ実行中に他のユーザがアクセスした場合の優先ユーザ判定を行う他のジョブ処理動作を説明するフローチャートである。

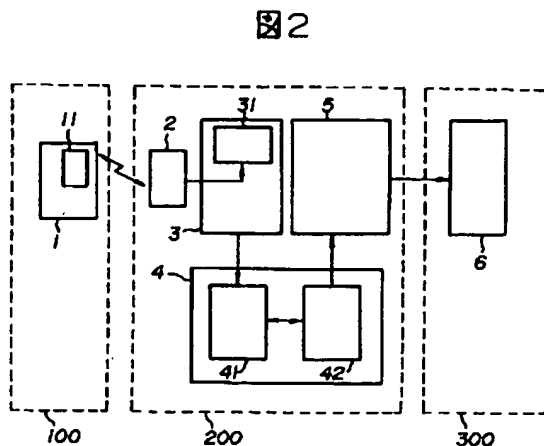
【符号の説明】

1・・・I/Dカード、11・・・トランスポンダ、2・・・送受信手段、3・・・I/Dコード解読手段、4・・・来歴データ格納手段、41・・・I/Dデータテーブル、42・・・来歴データテーブル、5・・・優先ジョブ判定手段、6・・・ジョブモード設定手段、12・・・電源回路、13・・・RFコイル、14・・・発振回路、15・・・RF送信回路、22、24・・・RFコイル、23・・・受信回路、31・・・レベル判定手段、40、62・・・RAM、50・・・インターフェースコントロール回路、60・・・画像形成装置コントロール回路（マシンコントロール回路）、61、70・・・ROM、80・・・キーボードI/Oコントロール回路、81・・・操作部を構成するキーボード、90・・・ディスプレイ装置、100・・・利用者、200・・・インターフェース装置、300・・・画像形成装置。

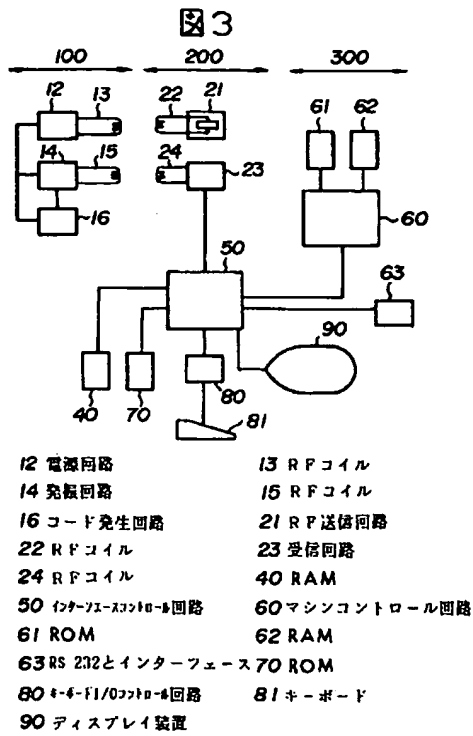
【図1】



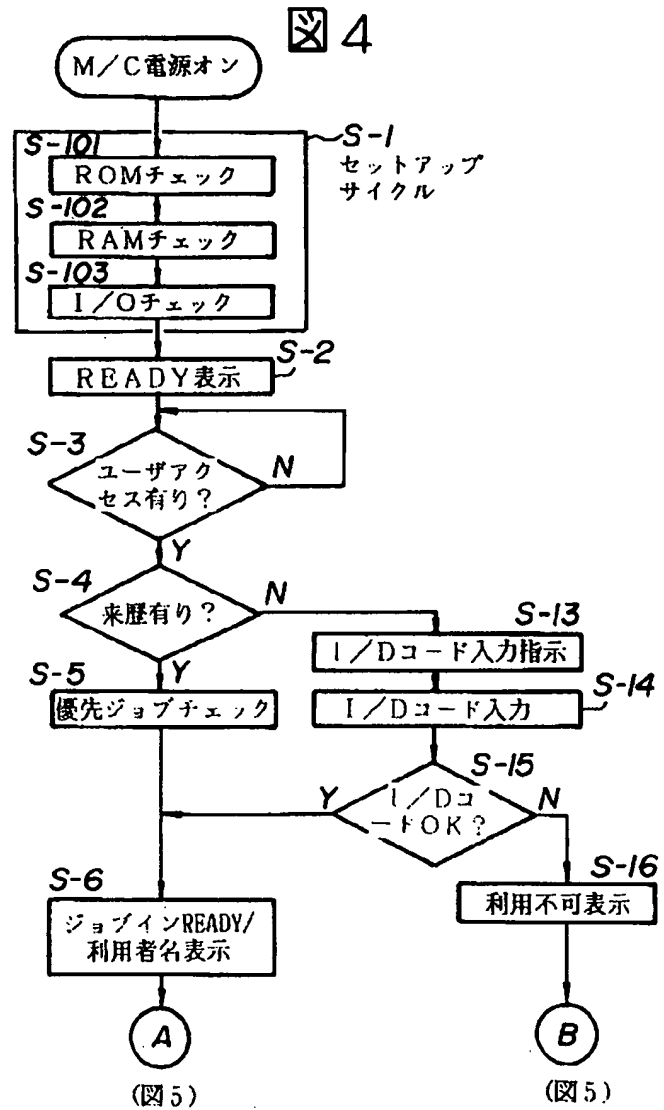
【図2】



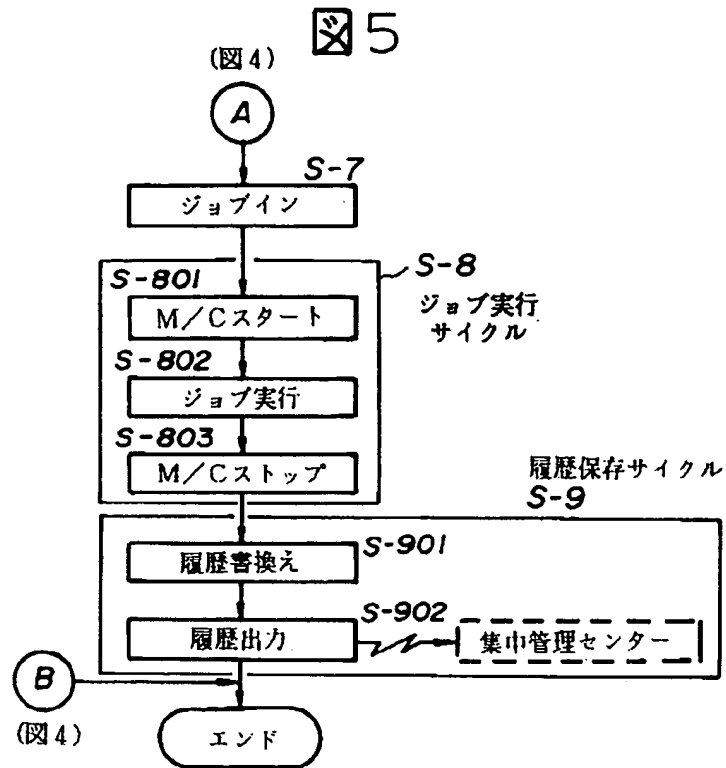
【図3】



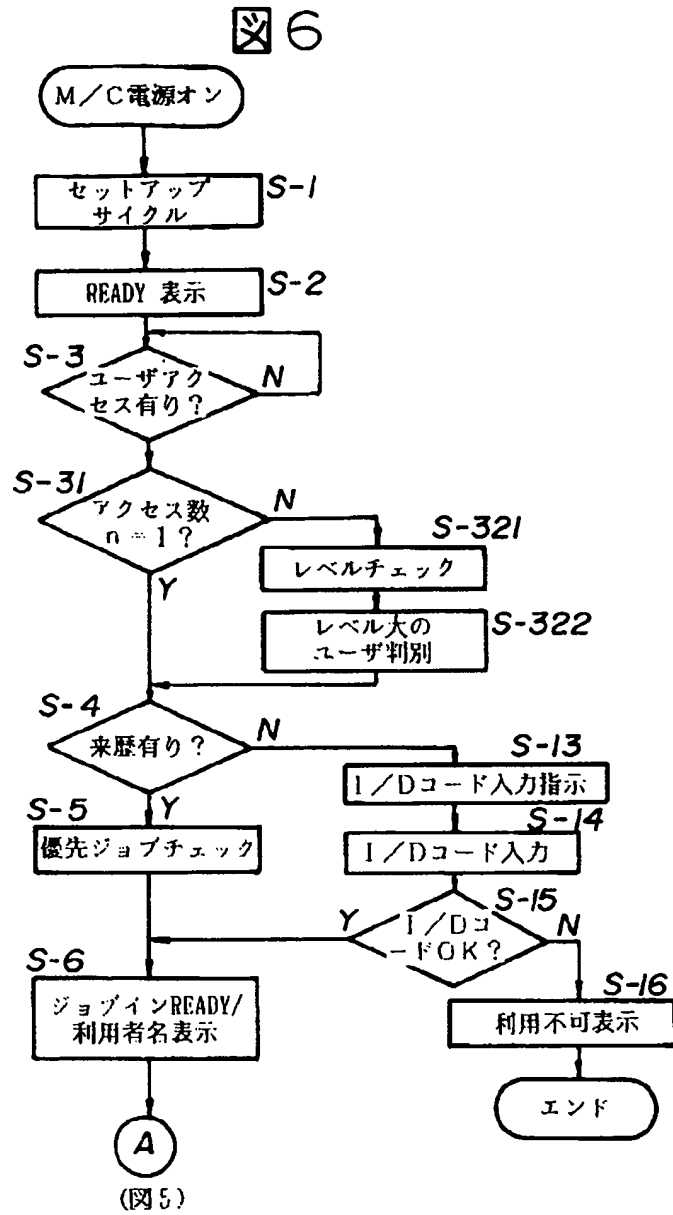
【図4】



【図5】



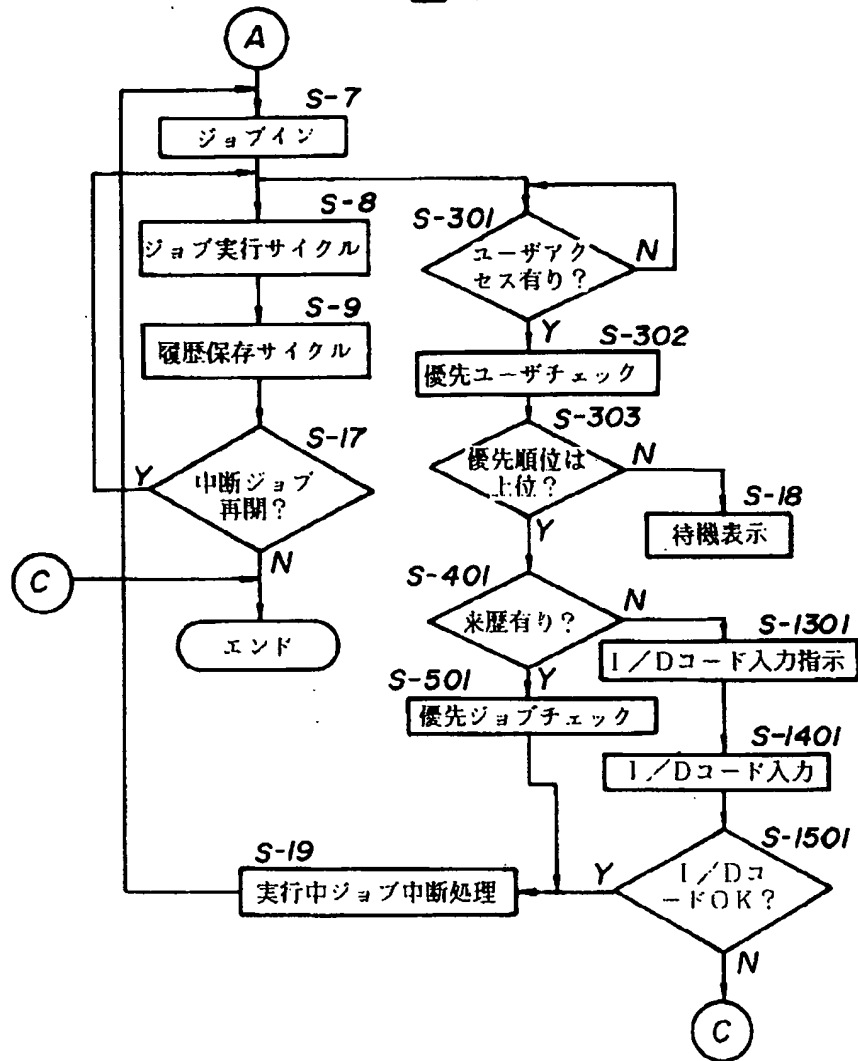
【図6】



【図7】

(図4, 6図)

7



【図8】

図 8

